

需給業務 BPR および 需給テンプレート導入支援

『需給改革』が、貴社にとって高いハードルになっていませんか？

需給業務は、標準化が難しく、適合するパッケージが少ない、と言われていました。アビームコンサルティングでは、良くある需給課題への対応に特化した、『ハズさないテンプレート』を改革の土台とする事で、多くの需給改革を成功に導いてきました。

サービスの特徴

需給テンプレートは、『ハズさないテンプレート』です。有効活用することによって、“低コスト／短期間”で需給改革を実現することが可能です。

ハズさないテンプレート導入

×

導入コスト削減

×

短期導入

+

- 多くの企業が直面する需給課題に対応できる、「必須機能」を標準装備
- その上で、貴社特有の課題／要件に合わせた柔軟なカスタマイズが可能

- 余分な機能を省くことで、ライセンス料／保守料の低減を実現
- 「必須機能」が標準装備されているため、追加開発は最小限

- 『Fit& Gap 診断書』など、アビーム独自の метод論によってプロジェクトを効率的に運営可能
- “現場の声”を取り入れた画面操作は単純明解で、ユーザーの習得期間も短縮

オプション

導入前 簡易診断

- 需給テンプレート導入に先立ち、需給簡易診断をお勧めします
- 貴社需給レベルを診断し、実行計画(ヒト/モノ/カネ)を立案する事で、メリハリのある需給改革を推進できます

ハズさないテンプレート導入

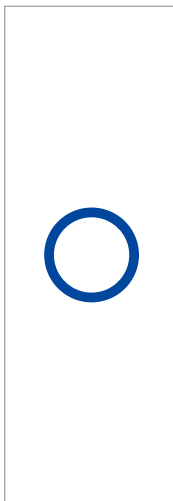
多くのお客様の需給改革をご支援する中で、『どの企業も同じような需給課題に直面している』ことを認識しています。それら共通課題の解決に必要な機能を優先し、標準装備いたしました。

以下9つの『よくある需給課題』にお悩みのお客様には、需給テンプレートの適合性が高いと考えられます。

よくある需給課題の改革テーマ

1	属人的な需給業務を標準化/省力化したい
2	月次から週次計画へ転換したい
3	精度の高い出荷計画をつくりたい
4	計画を自動連動し、生産計画に繋げたい
5	センター供給計画を日次自動立案したい
6	“製販在”情報を関連部門で見える化したい
7	将来の滞留見込を事前に把握したい
8	アラート起点の予防型在庫監視をしたい
9	KPIが見える化し、PDCAを回したい

需給テンプレートの カバー範囲



需給テンプレートの機能

販売計画・特売情報登録画面
需要予測自動算出
安全在庫自動算出
生産依頼自動算出(MRP実行)
供給計画自動算出
在庫計画表
製造日別在庫鮮度計算
在庫アラート自動算出
需給KPIのレポート作成

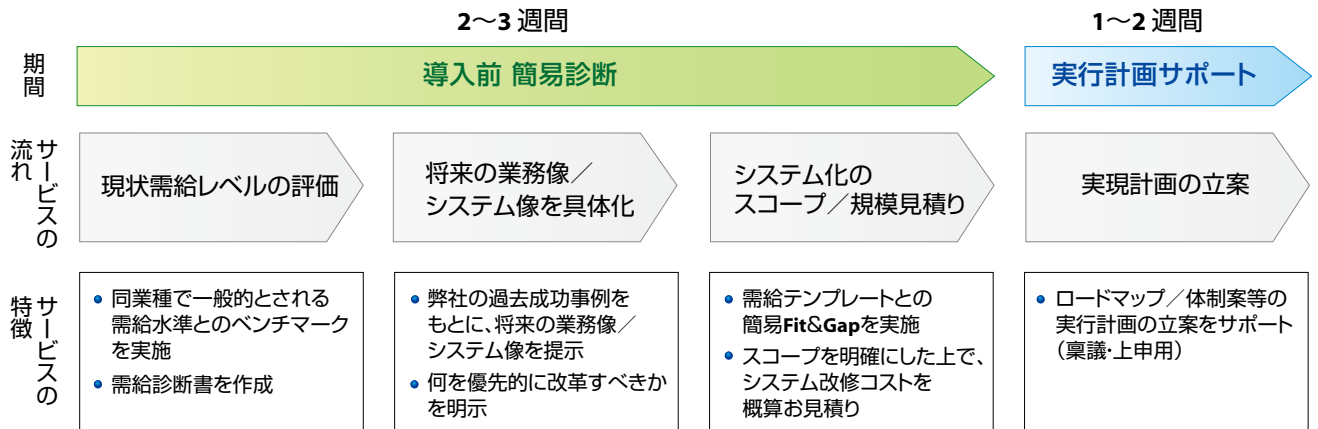
導入コスト削減／短期導入

海外パッケージ／スクラッチ開発と比較し、システム導入時のコスト／導入期間を低減することが可能です。また将来の改善要望に合わせて、柔軟にシステム改修を行うことができます。

	海外パッケージ	スクラッチ開発	需給テンプレート	需給テンプレートのメリット
コスト	ライセンス料／保守料が高くなる場合あり	△	○	<ul style="list-style-type: none"> 搭載機能を必要最低限に抑えた (= ライセンス料／保守料を低減) 追加開発が比較的軽微に収まる (= 開発コスト低減)
期間	○ 標準機能が適合する場合	×	○ 標準機能が適合する場合	<ul style="list-style-type: none"> 追加開発が比較的軽微に収まる (= 導入期間の短縮) 現場ユーザー視点で操作が単純明解 (= 習得期間の短縮)
システムの柔軟性	△	○	○	<ul style="list-style-type: none"> システム構造、設計がシンプル 自社開発のため、アビームが設計内容を熟知・保守も一括対応 (= 要件通りの実装／将来の拡張が容易)

導入前 簡易診断 (オプション)

新システムの導入を決断するには、様々な判断材料が必要です。『いきなりシステム導入』ではなく、先に貴社需給レベルの簡易診断を行う事をお奨めします。同業他社とのベンチマーク、将来像の明確化、需給テンプレートとのGap分析を行うことにより、システム導入前に、確かな改革イメージと、確かな実行計画を持つ事ができます。



導入効果例

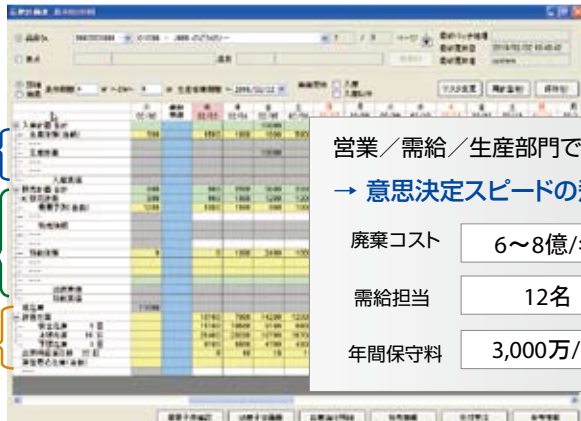
今まで属人化され、膨大な作業時間がかかっていた需給業務が、標準化／簡素化された。関連部門すべてで、ものさし (在庫基準) を一本化し、製販在情報を可視化することで、意思決定のスピードが飛躍的に向上した。

将来の

在庫情報が解る!

出庫情報が解る!

在庫情報が解る!



需給テンプレート画面イメージ

営業／需給／生産部門で製販在情報の見える化を実現!

→ 意思決定スピードの飛躍的向上

廃棄コスト	6～8億/年	▶	約4億/年
需給担当	12名	▶	7～8名
年間保守料	3,000万/年	▶	600万/年